

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		企画課		企画係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	11	多様な働く場の確保	2	労働環境の向上	1	雇用確保の促進			
事業名	ふるさと融資事業								
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
	細目	3	地域総合整備資金貸付事業	細々目	1	地域総合整備資金貸付事業	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成3年10月1日から旧小野田市、旧山陽町で地域総合整備資金貸付要綱を定め、金融機関と共同して地域振興に資する民間事業活動を支援し、もって活力と魅力ある地域づくりの推進に寄与するために、財団法人地域総合整備財団の支援を得て民間業者等に供給する無利子資金の貸し付け業務を実施する。	法人格を有する民間事業者に対する無利子融資を行うことにより、新たな雇用の創出、経済効果、官民の連携強化及び地域イメージの向上等による地域の振興に関する効果を期待している。市は起債で資金を調達し、利息の75%は普通交付税の算定の際に基準財政需要額に算入される。返済は財団法人地域総合整備財団を通じて行われる。	民間事業者等からの融資の申請を受けて、県経由で地域総合整備財団に申請書を提出する。 なお、ふるさと融資は、必要な資金の全額を貸し付けるものではなく、金融機関等との協調融資が必要である。貸付可能額は、6億円以下又は借入総額の20%以内である。	
活動指標		成果指標	
貸付相談に対する適切な対応		活力と魅力ある地域づくりの推進	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
市が積極的に融資を推奨するものではなく、目標値の設定は困難	1件	目標値の設定は困難	相談件数1件は申請に至らなかった
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳				財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
				一般財源	()		
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
本事業は、市が積極的に融資を働きかけるものではなく、融資の希望があった場合に適切に対応する必要がある。また、市だけで完結する事業ではないため、地域総合整備財団との連絡を密にしながら、適切に事務処理を行う必要がある。	本事業は事務費等はかからず、職員の人件費のみ必要な事業である。そのため、費用の削減は望めない。事例が増えれば、作業の効率化が実現できると思われる。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	関係法令 山陽小野田市地域総合整備資金貸付要綱 過去の貸し付け実績 6件 1,328,000千円
-----	---